運動器に関する保健調査票（兼運動器検診実施票）（案）の説明書

日本整形外科学会学校保健委員会委員／たちいり整形外科

立入 克敏

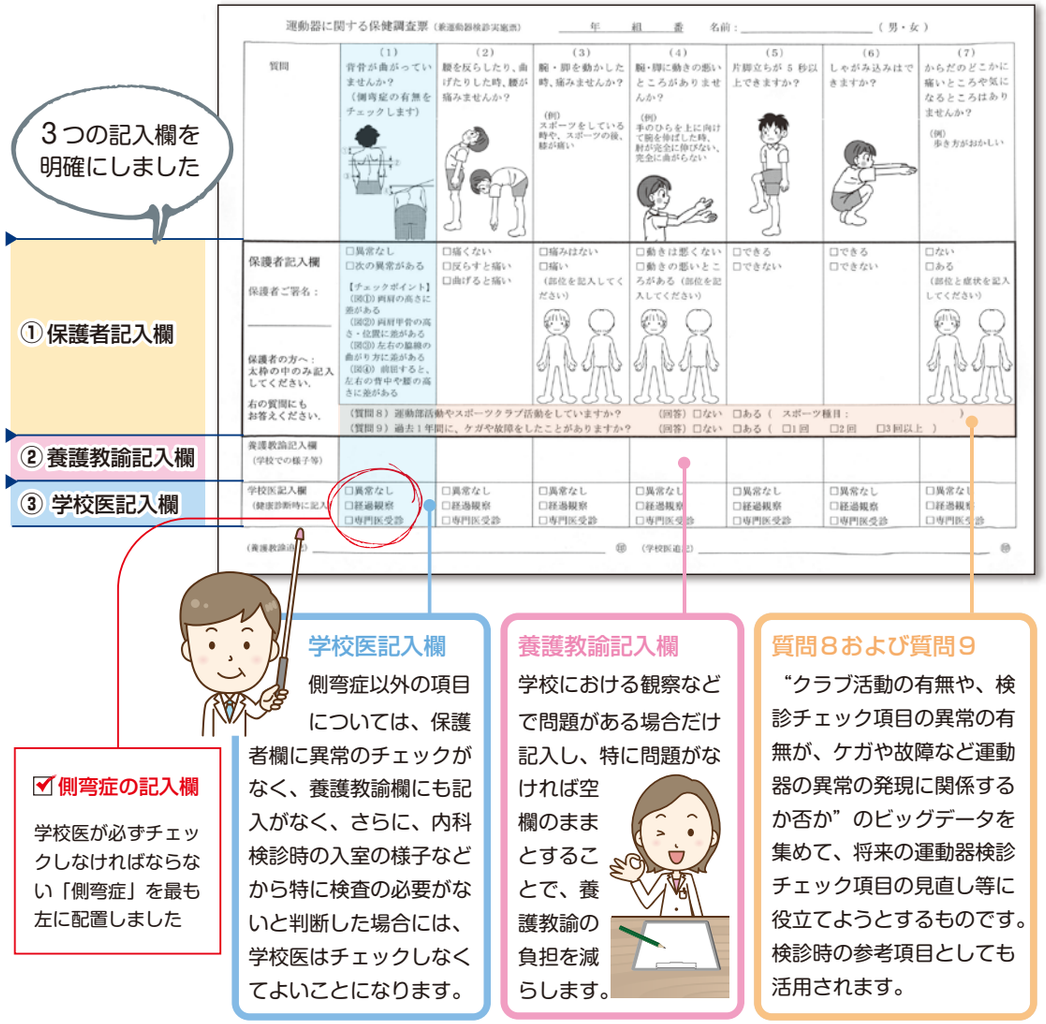
2016年2月号の特集でご紹介した「保健調査票」（下図）は、情報を整理する養護教諭と、検診を担当する学校医が、できるだけ手間をかけずに情報を整理しやすいように、一見してどこに問題があるかを把握しやすいようにしました。

この調査票を用いることによって、スムースに運動器検診を進めることができると考えています。使い方を説明します。

この保健調査票および保健調査票の説明書は、WEB版『健』からダウンロードしてご活用いただけます。
保健調査票は養護教諭の記入欄が異なる２種類をご用意しましたのでご都合の良いほうをご利用ください。

http://www.school-health.co.jp/index.html

運動器に関する保健調査票（兼運動器検診実施票）



① 保護者記入欄

② 養護教諭記入欄

③ 学校医記入欄

3つの記入欄を明確にしました

☑側弯症の記入欄

学校医が必ずチェックしなければならない「側弯症」を最も左に配置しました

学校医記入欄

側弯症以外の項目については、保護者欄に異常のチェックがなく、養護教諭欄にも記入がなく、さらに、内科検診時の入室の様子などから特に検査の必要がないと判断した場合には、学校医はチェックしなくてよいことになります。

養護教諭記入欄

学校における観察などで問題がある場合だけ記入し、特に問題がなければ空欄のままとすることで、養護教諭の負担を減らします。

質問８および質問９

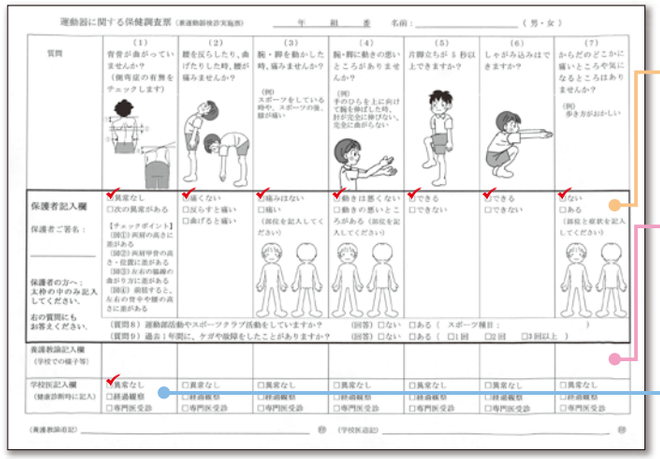
“クラブ活動の有無や、検診チェック項目の異常の有無が、ケガや故障など運動器の異常の発現に関係するか否か”のビッグデータを集めて、将来の運動器検診チェック項目の見直し等に役立てようとするものです。検診時の参考項目としても活用されます。

例で見る記入の仕方

異常がない場合の例

保護者欄に異常のチェックがなく、養護教諭欄にも記入がない、多くを占めると予想されるケース

この場合は、学校医が内科検診時の入室の様子などから特に検査の必要を認めない限り、必須項目である「側弯症」の検診を学校医が行って、結果をチェックするだけでよいです。



① 保護者記入欄

☑チェックマークが横一列に並ぶので、異常がないことが一見して判る

② 養護教諭記入欄

全項目に記入がない

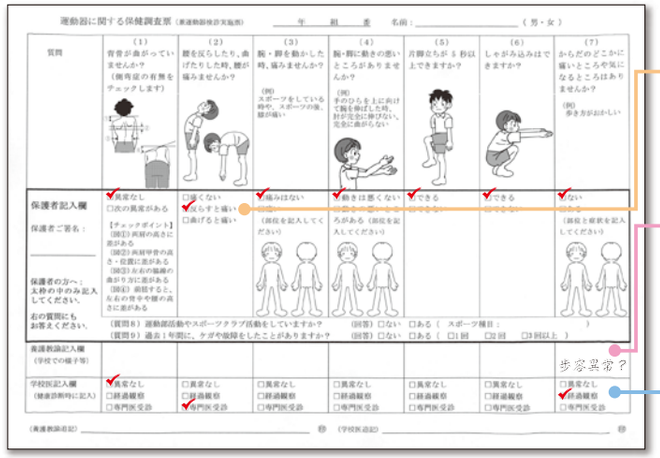
③ 検診時の対応

必須項目である側弯症のみ検診してチェックする

異常が見られる場合の例

保護者欄に異常のチェックが１項目と、養護教諭欄への記入が１項目あるケース

下図のケースでは、学校医は、保護者欄に異常のチェックがある１項目、養護教諭欄への記入がある１項目、そして、必須項目である「側弯症」の検診結果をチェックすればよいのです。その他の項目については、学校医が内科検診時の入室の様子などから特に検査の必要を認めない場合にはチェックする必要はありません。



① 保護者記入欄

１つの項目に異常のチェックがある

② 養護教諭記入欄

１つの項目に記入がある

③ 検診時の対応

必須項目の側弯症と、記入のある項目のみチェック